

Case-3. 派遣職員の紹介



東京事務所
(三井物産株式会社へ派遣)
主任
合木 達彦

時期	所属	職名	仕事内容
平成25年度～	土木建築局 建築課	主事	建築士・宅建業に係る許可
平成28年度～	地域政策局 地域政策総務課	主事	局内予算の総合調整
令和元年度～	健康福祉局 子供未来戦略担当	主任	子ども・子育てに係る計画策定
令和2年度～	健康福祉局 子供未来応援課	主任	母子保健・子育て支援
令和5年度～	三井物産(株) (民間派遣)	主任	グループ会社のマネジメント

研修制度について

広島県は、行政運営の効率化等の観点から、行政の枠を超えた広い視野を職員に身に付けさせるべく、民間企業への派遣研修を実施しています。私が派遣されている三井物産では官民交流促進及びCSRの観点から地方自治体職員等の研修受入を行っており、令和6年度現在、広島県を含め8つの自治体及び3つの地方銀行から計12名が研修員として派遣され、それぞれの所属にて活動しています。

どのような仕事を行っているのですか？

総合ファイナンス業を営むグループ会社の管理を担当しています。株主の立場で経営状況をモニタリングする他、限られた人的リソース・時間的制約の中で、企業価値向上にインパクトのある「攻め筋」を戦略的にアクションプランに落とし込み、実行していくことが私のミッションです。私が担当する会社は三井物産の中でも国内最大級のグループ会社です。ステークホルダーが多く歴史も長い為大変な側面もありますが、会社経営・意思決定がどのように為されているのか、大企業経営の疑似体験が積める機会として非常に学びが多く、やりがいのある職場です。

派遣での経験を通して得られたことは？

経営資源の中で「人」を最重要とすることが経営の根幹である、ということを学びました。三井物産には「人」を何よりも大切にするという企業文化が醸成されています。予測が難しく環境変化の激しい中で広島県を運営していくためには、変化に即応し未来の広島県を創ることができる人を育て、それぞれの力を引き出していくことが重要です。挑戦を通じて人は育ち強くなり、強く育った人が新たな価値を生む。こうした「挑戦と創造」の精神を忘れることなく、「将来にわたって「広島で生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現」に向け、邁進していきたいと思います。

《 キャリアパス 》

◆ 多様な分野の業務へのチャレンジが可能

県庁には様々な分野の仕事が存在します。概ね3～5年程度で部署を異動する場合が多く、幅広い職務経験を積んでいくことができます。異動範囲は原則、広島県内となっており、ほぼ全域から通勤可能です。

また、他県や市町、民間企業への派遣研修などの制度もあり、職員本人の意向により様々なフィールドでの活躍が可能です。

◆ スペシャリストとしての道を極める異動も可能

一定のキャリアを積んだ後、特定の分野で活躍する異動もあります。

◆ 人事異動に当たっての面談を実施

毎年、異動希望調査を実施し、本人のライフプランやステージに応じたキャリアプランなどの希望について、上司と面談する機会が設けられています。

◆ 人事異動における庁内公募の実施

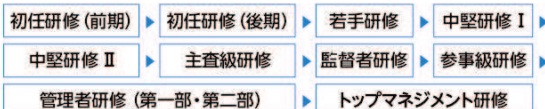
令和5年度から、対象となる部署の中から希望する部署を選択して応募し、応募書類及び面接による選考等を経て、部署を決定する「庁内公募」を実施しています。(選考の結果は、異動の内示をもって本人のみが知ることとなります。)

《 研修制度 》

採用された年に「初任研修」を行っています。その後も勤務年数や役職に対応した一般研修を行い、それぞれの役割に応じて必要とされる知識やスキルを体系的に習得していくことができます。また、企画立案力研修、データ分析・活用力研修、法制執務研修といった特別研修は、本人の希望により受講することが可能です。

一般研修

キャリアアップに伴って実施される研修



特別研修

業務のスキルアップ等を目的とした研修

※ 職員の希望により受講可能

- 例) ● 企画立案力研修 ● データ分析・活用力研修
● 説明力向上研修 ● 法制執務研修
● デジタルリテラシー向上研修 ● キャリアデザイン研修 等

派遣研修

国や他の自治体、大学院、民間企業等への派遣

- 民間企業の例) マツダ(株)、キリンHD(株)、三井物産(株)
国の機関の例) 内閣官房、財務省、経済産業省

【 県の職制
(知事部局) 】

主事・技師

主任

主査・グループリーダー

参事

課長

部長

局長